

学 会 録 事

1. 2018年度第1回持ち回り評議員会

第1回持ち回り評議員会(2018年1月24日~2月5日)を開催し、【議案1】「実施要領に基づき、第21回日本藻類学会論文賞(2018年3月24日授与)を以下の論文に授与する。Yoshihiko Sakanishi, Hiromi Kasai and Jiro Tanaka Trade-off relationship between productivity and thallus toughness in Laminariales (Phaeophyceae) (Volume 65, Issue 2, pages 103-110, 2017)」の可否を審議した。その結果、国内評議員15名のうち15名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

2. 2018年度第2回持ち回り評議員会

第2回持ち回り評議員会(2018年2月9日~2月22日)を開催し、【議案1】「日本藻類学会会則第3条第4号と日本藻類学会学会賞選考規程に基づき、第14回研究奨励賞(2018年3月授与)を高橋和也氏に授与する。」の可否を審議した。その結果、国内評議員15名のうち11名からの回答があり、回答者全員の賛成により承認された。

3. 2018年度第3回持ち回り評議員会

第3回持ち回り評議員会(2018年6月15日~6月30日)を開催し、次期会長候補者の推薦投票を行った。国内評議員15名中15名から投票があり、得票数5位までの方に対して学会事務局から推薦の可否の確認を行ったところ、了承された方が3名に達しなかった。その結果、今回の選挙では評議員会として候補者の推薦を見送ることとした。
※2018年度第4回持ち回り評議員会は継続審議となりました。

4. 水産・海洋科学研究連絡協議会

平成30年度第1回協議会が2018年5月28日に東京海洋大学品川キャンパスで開催された。鈴木秀和会員が出席。

<議題>

1. 議長、副議長、幹事の選出：議長に竹内氏、副議長に日本水産工学会(大竹氏)、日本水産学会(佐藤氏)、日本学術会議水産学分会(古谷氏)、幹事に佐野元彦氏が選出された。2. 平成29年度第2回水産・海洋科学研究連絡協議会議事録案について：原案のとおり承認した。3. 水産・海洋科学研究連絡協議会運営要領の改正について：議論の結果、原案を一部修正したうえで別紙のとおり承認した。4. 各学会の情報交換：各学会の活動の紹介があった。5. 日本学術会議主催公開シン

ポジウムについて：これまでの経緯の説明、今年度の計画の説明、および開催日とテーマに関する質疑応答を行い、テーマについては今後メールで意見を募集し、具体的な案を検討していくこととなった。また、日本水産学会、日本水産工学会、日本海洋政策学会から委員を選出して実行委員会を組織することとした。6. 本年度の運営方針について竹内氏より今後の予定について説明があった。7. 白鳳丸存続の要望に関して：西部氏より説明があり、質疑応答を行い、議論の結果、意見を元に要望書を修正し、各学会で賛同するかどうかを検討することとなった。8. その他：大型研究計画(マスタープラン)、名古屋議定書、次回の会議日程について報告・説明があった。

5. 和文誌「藻類」バックナンバーの学会HPへの掲載状況

2018年9月29日現在、64巻2号までのPDF fileを閲覧・ダウンロードできる状況。なお、55巻1号~64巻2号までは記事ごとのダウンロードが可能。

6. 学会HPによる情報配信と記載内容の更新

2018年6月~9月に掲載・更新した内容は次の通りです：藻類における和名の提唱と使用に関するガイドライン案について

国立科学博物館分子生物多様性研究資料センター特定非常勤研究員公募

平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞候補者(科学技術賞研究部門および若手科学者賞)の推薦

「朝日賞」候補者推薦の募集

神戸大学内海域環境教育研究センター(海域生物多様性研究分野)教授公募

全国大学院生協議会よりアンケートへの協力のお願い

福井県立大学海洋生物資源学部の教員(助教・准教授)公募

第5回ラビリントラシンポジウムのお知らせ

日本藻類学会第43回大会(京都・2019)について

第20回生態学琵琶湖賞の公募

平成30年北海道胆振東部地震により被災された方々へのお見舞いおよび加盟団体の皆様へのご案内(日本分類学会連合)

日本共生生物学会の第2回神戸大会の参加登録

藻類和名のガイドライン案に対するご意見募集リマインド

第28回日本海藻協会シンポジウム「国産テングサ資源を見直そう」の開催

日本藻類学会特別賞および学術賞の募集